

全体報告

saveLAKの1年目の回顧と展望

ー反省と課題を踏まえて

saveMLAK報告会2012
「社会教育・文化施設の救援・復興支援」

日時：2012年7月1日

会場：東京国立近代美術館／エル・おおさか（大阪府立労働センター）

by 岡本真 (@arg)

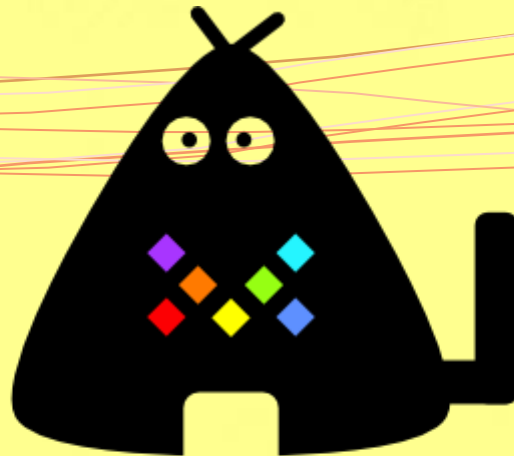
saveMLAKプロジェクトリーダー



saveMLAK

saveMLAKという活動

—MLAK+アルファの一体的活動



saveMLAK

MLAKとは何か

M

- Museum（博物館）

L

- Library（図書館）

A

- Archives（文書館）

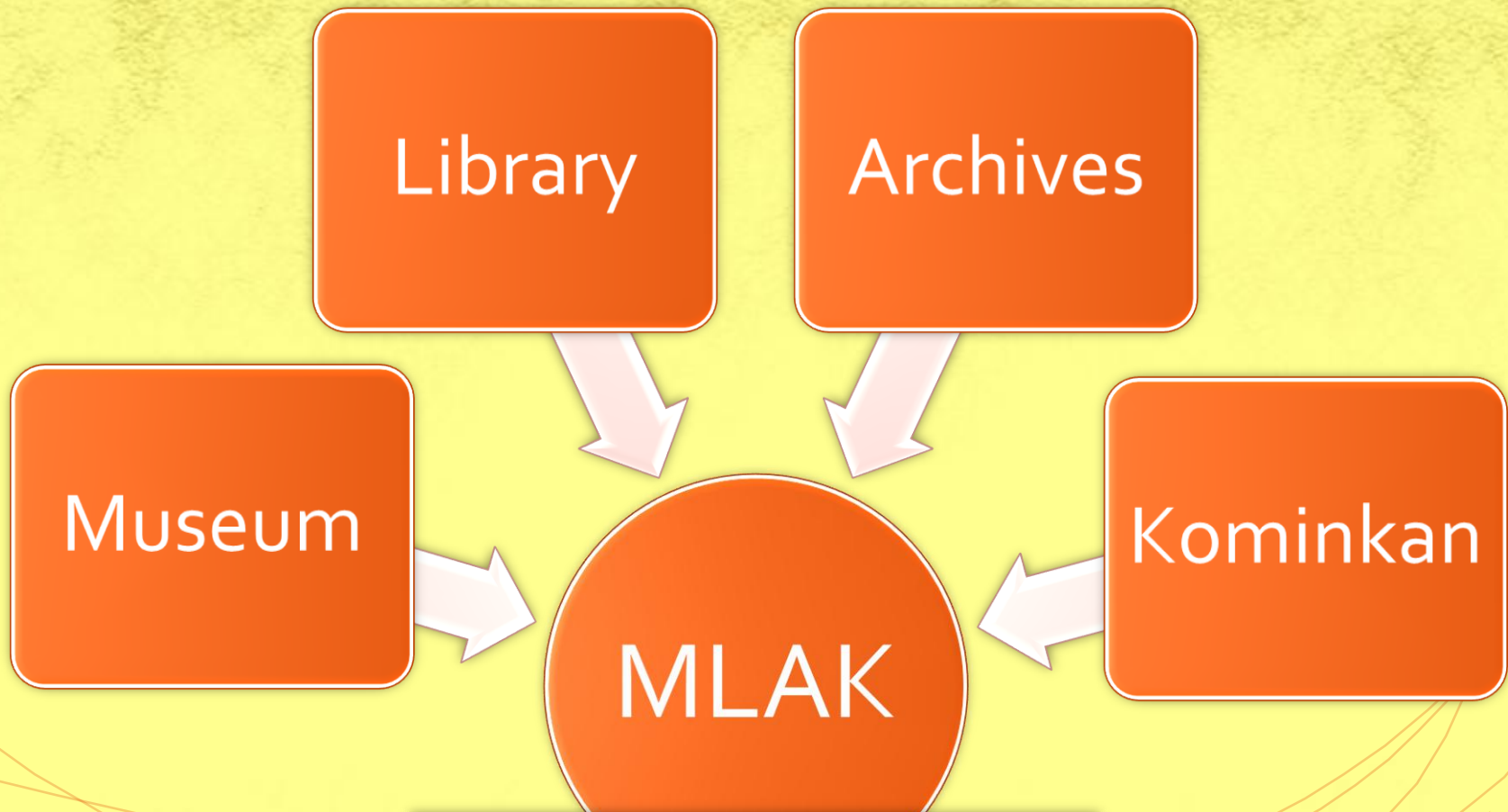
K

- Kominkan（公民館）



saveMLAK

MLAKへの一体化



＋各種プロフェッショナル
プロジェクトマネジメント、
デザイン、経理、その他

saveMLAKの体制と活動

体制

- 有志（個人＋組織）
- 国内外約300人の参画

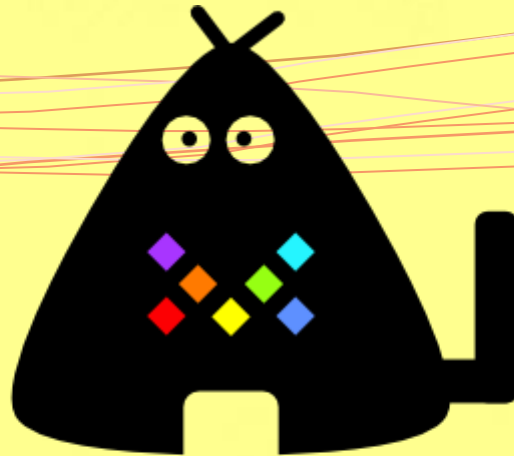
活動

- 間接支援（主として）
 - 情報支援（集約と共有）
 - 中間支援（把握と仲介）



saveMLAKの1年目

プロボノによる情報支援と中間支援
による間接支援の一定の成功



saveMLAK

saveMLAKの1年目の自己評価

戦略的広報
自己資金獲得

- 実施と成功：

1. プロボノの参画
2. MLAK+アルファの集約
3. Wikiを中心とした情報支援
4. コーディネートを中心とした中間支援
5. 1.～4.の集積による「間接支援」の実現

+	2,919,820
-	2,019,223
±	900,597

できていることは素直に称賛したい

- 失敗と課題：

- 本日の最大の眼目（後述）



saveMLAKの1年目の反省と課題#1

1. 即応体制ができていない

1. 被災地に入るのが遅かったこと
2. 東北三県に活動拠点を設けなかったこと
3. その活動拠点到に常駐するメンバーを設けなかったこと
4. 2. と3. を実現するための経済的基盤を築けていないこと



saveMLAKの1年目の反省と課題#2

2. 広範なプロボノ活動たりえていない

- MLAKでの完結傾向
- 「+アルファ」が実現し始めるまでの遅さ
 - 例外としての「プロジェクトマネジメント」（高橋）、「デザイン」（アルファデザイン）、「経理」（赤塚）
- 依然、不足している「+アルファ」部分
 1. プロジェクトマネジメント
 2. ファンドレイジング（資金調達）
 3. メディアリレーション（広報）
 4. ロジスティックス（運送）
 5. ロビーイング
 6. その他／チャレンジャー

saveMLAKの1年目の反省と課題#3

3. 個別リーダーが不足している

- リーダー＝リード役（牽引する者）
- リーダーを生み出す「仕掛け」の不足
- Wiki編集等以外での複数のリーダーによる複数プロジェクトの運営に至っていない
- 特定少数のリーダーへの負荷が日々増している
 - 活動の認知拡大とともに増える依頼・相談
 - リーダー不足による新規案件の手控えという負のサイクル



saveMLAKの1年目の反省と課題#4

1. 即応体制ができていない
2. 広範なプロボノ活動たリエていない
3. 個別リーダーが不足している

できていないことは率直に見直したい

全体報告

saveLAKの1年目の回顧と展望

ー反省と課題を踏まえて

saveMLAK報告会2012
「社会教育・文化施設の救援・復興支援」

日時：2012年7月1日

会場：東京国立近代美術館／エル・おおさか（大阪府立労働センター）

by 岡本真 (@arg)

saveMLAKプロジェクトリーダー



saveMLAK